

出前講座活動報告(平成30年10月30日)

I.「いつまでも自宅で暮らすために」...(在宅医療)

いちき串木野市包括支援センター 保健師 久保 小百合

II.「がんばりすぎない介護を応援します」

いちき串木野市医師会在宅医療・介護連携推進事業 南新 敦子

参加者の声

平成30年10月4日(木)出前講座 酔之尾公民館 9:30~11:00(参加者23名)

「出来る限り住み慣れた自分の家でずっと暮らして行きたいと思っていますよ」..皆さんうなづかれました。出来れば、ピンピンころりでポックリといきたい...。(笑い)

認知症はこれから、とても心配しています。特に一人暮らしをしていると「認知症になったら、どうしようと思います」

8年間ほど、自宅で介護しました。でも訪問看護を利用してとても良くしてもらった。本当に助かりました。夫婦で暮らしていますが、「これからの事を考えて行かないと」..と思いました。

皆さんが、浣刺と体操もされて、全体に笑いがあふれている様子が伝わってきました。

病院の入院期間の状況など質問があったり、熱心に聴いて頂きました。とにかくまだまだみんなで体操を続けて元気の過ごして行けばいいよ。と皆さんうなづかれました。日頃から、「良好な関係性がしっかり築かれている公民館」という印象でした。



平成30年10月23日(火)出前講座 恵比須公民館 13:00~14:30(参加者6名)

今の所元気ですし、このままずっと自宅で過ごして行きたいと思います。

健康寿命は聞いたことがあります。まだ、介護の事とか実感が無いから考えていないです。

自分で家で好きなことをしながら、最後まで過ごして行けたらいいですが、そううまくいかないかもしれないですね。元気で体操をしたり、健康寿命を延ばして行けたらいいですね。

まだまだ現役で活動されているお話もされ、若々しいイメージの公民館でした。地元から離れて退職後帰省された方もあり、ころばん体操やそれぞれに趣味を楽しみながら日々を過ごされていて介護について実感が湧かないという印象もありましたが、これから自分たちにも関わってくる事だよと話され興味深く聞いて頂きました。



平成30年10月26日(金)出前講座 平ノ木場公民館 13:30~15:30(参加者11名)

いつまでも、自分の家で暮らして行きたいですよ。もちろん、この場所に住み続けたいです。

「包括ケアシステム」..聞いたことはありますけど..よく分かりません。

健康寿命..この辺の人は、まだまだ元気で働いている人ばかりじゃ..健康寿命はとっくに超えている。

認知症は気になります。 やっぱり心配です。

面倒見てくれる人がいれば、わが家が一番良かことは、決まっている。

マイライフノートに「延命治療は受けたくないです。」って書いておけば先生に伝わりますかね。

興味深く、熱心に聴いて頂きました。

話を聴きながら、深く肯いて共感して頂いたり、質問されたり、皆さんで色々ご意見ができました。

まだ今の段階では考えられないとのご意見やこんな話を色んな所でしてほしい。

など参考になりましたが、自宅でずっと暮らして行くにはまだ不安に思いますというご意見も多くありました。

